

# アラゲハンゴンソウ

*Rudbeckia hirta*

キク科



アラゲハンゴンソウ

## 名前の由来

茎に荒い毛を持つハンゴンソウという意味。ハンゴンソウは日本の自生種で、死人の魂を呼び戻すという意味があり、この植物の葉効や、魂を手招きする掌にみたてられる葉の形から連想されたものである。別名キヌガサギク。漢字名：荒毛反魂草

## 形態的特徴

高さ40~70cm、全草に硬い毛が多くざらつく。葉は長楕円形で、縁に浅い波状の鋸歯がある。下部の葉は大型で長柄を持つが、上部の葉は小型で柄を持たない。茎頂に直径7cmほどの花をつける。花（頭花）の中心は暗紫色の筒状花が集まり円錐状に盛り上がり、周囲を8~14枚の橙黄色の細長い舌状花が取り囲む。

類似種：特になし。

## 生育環境・分布

日当たりがよく乾燥する道端や低地の草原、林のふち、河原などに群生する。

**分布：**国外分布は、北アメリカからカナダにかけての原産で、各国で花卉として栽培されている。

国内分布は、北海道から本州。

北海道内分布は、留萌・宗谷以外の全道で確認されている。十勝地方では、日当たりがよく乾燥する道端や低地の草原、林のふち、河原などに群生する。

## 生活史

開花時期：7~8月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■第二次世界大戦前から北海道での分布が確認されている。



アラゲハンゴンソウ。道ばたにも群生する



アラゲハンゴンソウ



ハンゴンソウ（在来種）



オオハンゴンソウ



ヤエザキオオハンゴンソウ

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期				■								

## 参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（鳥水辺）  
類

（葦原・樹林）  
鳥類  
ワシ・タカ